

余目第一学区まちづくり計画

いちいち

18ビジョン 2028

<2024 ▶ 2028>

～あいさつと思いやりで人とつながろう～



いちいち

18ネットワーク

余目第一学区まちづくり計画「18ビジョン2028*」
いちいち

《 目 次 》

地区計画策定にあたって	1
はじめに	2
「18ビジョン2028」	4
将来像	
基本目標	
自治・防災分野	
環境・福祉分野	
学習分野	
住民交流分野	
「18ビジョン2028」策定の取組み	8
「18ビジョン2028」策定の歩み	9

(*「2028」はビジョン目標年の令和10年の西暦)

地区計画策定にあたって

いちほち
18ネットワーク 会長 梅木 隆



令和4年度より余目第一公民館は余目第一まちづくりセンターに名称変更となり、住民主体の地域活動の拠点になって2年が過ぎようとしております。この間、施設の管理、運営は庄内町から指定管理者の指定を受けた、地域運営組織の18ネットワークが行っており、現在は「令和5年度18ネットワーク経営計画」に基づき、経営方針並びに重点目標を掲げて活動しているところであります。

今般、令和6年度から5年間の地区計画の策定（地域ビジョンづくり）にあたっては、理事会の構成員で組織する「余目第一学区地区計画策定委員会」を設置するとともに、実際に計画作りの作業を進める組織としては、各部会の役員やまちづくり推進員で構成する「余目第一学区地区計画検討委員会」が主体となって進めてきました。この地区計画は、第一学区の住民が学区内に住み続けるために何が必要で何が課題かを把握して、地域づくりの将来像や基本目標を定めるために策定するものであり、18ネットワークの今後の事業運営の指針となるものであります。

当初より、東北公益文科大学の武田真理子先生や地域共創コーディネーターの皆さんのご指導、ご協力をいただきながら検討を重ねてきましたが、令和4年度から年度を越えての作業は、ここによりやく完成の運びとなりました。

ここまでは、幾度かのワークショップの開催や先進地の視察をはじめ、各世代へのアンケート調査や全18集落を訪問しての説明会を行うなどして、学区住民の皆さんから数多くのご意見、ご要望をいただきました。その全てについてお応えすることは叶いませんが、今後は皆さんからのご意見を参考に運営に努めていくとともに、「参画と協働」のまちづくりを進めることによって地域の活性化を図っていく所存であります。

ここに冊子の完成にあたり、策定にご尽力をいただいた関係者の皆さんはじめ、貴重なご意見をいただいた地域の皆さんに感謝を申し上げますとともに、今後とも18ネットワークによる地域づくりにご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

はじめに

○ 余目第一学区の概要

余目第一学区は、庄内町余目エリアの南西部に位置し、集落数 18、人口約 4,300 人、世帯数約 1,600 戸で、庄内平野の美田と鳥海山や月山を一望できる自然豊かな風光明媚な地域です。また、少子高齢化で年々人口が減少しているものの、庄内町役場や警察署、響ホールなどの公共施設があり、また生活に必要な施設や商店も整っていることから、暮らしやすい地域です。

今後、少子高齢化社会の進展とともに、高齢者世帯の増加による除雪や買い物の問題、高齢者のコミュニティの縮小や少子化による民俗芸能伝承の後継者不足、また空き家対策や自治会役員のなり手不足等々多様な課題が顕著になってくると考えられます。

これらをふまえて、令和 3 年 11 月 3 日、余目第一学区 18 集落に住む人々の交流や連携を図りながら、多様な課題等の解決に自らの知恵と力で取り組む地域運営組織として「18 ネットワーク」を設立し、いつまでもこの地域に住みたいと思える“まちづくり活動”を推進しています。



○ 余目第一学区の課題及び今後の活動に必要なと思われる事項

今回の地域ビジョン策定に際し、集落調査やアンケート調査、またワークショップ等様々な方法・場面で第一学区の住民の方々からご意見をいただきました。

その中から、課題と思われる事項や今後の活動に必要なと思われる事項を抽出した内容は次のとおりです。これらをふまえて、地域ビジョンの策定に当たりました。



課題と思われる事項	
集落調査から見える課題	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし等の高齢者世帯増加に対応した地域の支援 ・自治会役員等のなり手不足と自治会活動に対する無関心化 ・集落内の若者組織の消滅による、交流の希薄化の進行 ・集落内施設（公民館、神社、公園遊具等）の老朽化に伴う、維持費負担の増 ・子どもの数の減少による地域の伝統行事の継承方策 ・自然災害（大雨・地震等）発生時の対応（内水被害も含めて）
組織運営の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・現事務局 3 名体制で実施可能な事業内容及び事業実施方法への見直し ・各部会が主体的に事業を進めていくための担い手の育成 ・町の交付金以外の他の活用可能な助成金の調達等、将来的な法人化を見据えた独自の活動資金の確保

各種アンケート調査等から見える課題	<ul style="list-style-type: none"> ・重要性を感じている除雪の支援、地域づくりの担い手育成、移動支援活動、子育て相談の場等について、満足度が低い ・全体の8割近い人が今後も学区内に住みたい意向を示しているが、老後の冬場の生活環境（除雪等）や買い物、移動手段の面などで不安を持つ人がいる ・地域の活力を高めるためには、若者の定住促進や若年層の地域参画、祭りや運動会などのイベント開催を挙げる人が比較的多い ・学区内の道路環境の改善や学童保育の場所が遠くて古いこと、また小学校周りの駐車場が少ない等、子どもに関係する施設等の改善の意見が多い ・公園や子供たちが集まれる場所、学習できる場やスタディカフェなどの設置を求める人がいる
ワークショップの内容から見える課題	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の便が悪いことと高齢者の移動手段 ・高齢者一人世帯の除雪 ・自治会役員等のなり手不足と事業参加者の固定化や高齢化 ・近所付き合いの希薄化 ・世代間交流の機会の減少 ・空き家の増加

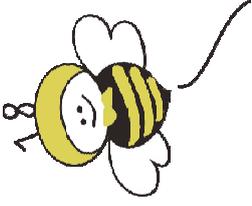
今後の活動に必要と思われること	
人口減少対策	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の利活用 ・他学区地区との若者交流事業の創出 ・子供たちの記憶に残るイベント等の開催 ・地域の良さを認識できる事業の実施（スタンプラリー、ざっこしめ等）による関係人口の拡大
高齢者・生活支援対策	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物弱者への移動支援 ・除雪への支援 ・健康寿命の延伸に向けた取組み
子育て支援対策	<ul style="list-style-type: none"> ・学童保育及び放課後子ども教室の充実（ハード・ソフトともに） ・子育てに関する相談の場の整備 ・子ども達の学習支援の場の提供
環境保全	<ul style="list-style-type: none"> ・環境美化活動を通したきれいなまちづくり ・コキアを活用したまちづくり ・放置空き家、空き地対策 ・メダカ保護活動の発信等
産業・観光	<ul style="list-style-type: none"> ・学区内産品等の販売の場の提供（軽トラ朝市、フリーマーケット等） ・インバウンドを呼び込む方策 ・学区内の観光資源を活用した交流人口の拡大
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会と連携した担い手の育成 ・多様な活動資金の確保 ・学区内企業との連携
自治会運営	<ul style="list-style-type: none"> ・女性の参画の促進及び世代間交流の充実 ・多様性を尊重した活動 ・集落や地区の防災対応力の向上 ・伝統芸能の伝承対策
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地元を学ぶ住民大学の開設 ・視聴覚室を利用したP V（パブリックビューイング）の実施

いちはち
余目第一学区まちづくり計画「18ビジョン2028」
(計画期間 令和6年度～令和10年度)



将来像：ほのぼのdue 18ネット～あいさつと思いやりで人とつながろう～

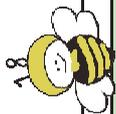
基本目標：① 響き合うあいさつと交流でつながる 地域の輪
② 世代をこえ 思いやりの心であふれる 笑顔の和



【自治・防災分野】 目標：地域のつながりで 安全・安心の18ネット

活動の柱	活動内容	具体的事業	行動計画						
			R6	R7	R8	R9	R10		
1. 住民のつながりで安全・安心の地域づくりをします 	(1) 自然災害に対する一人ひとりの意識を高め災害の備えを進めます	① 防災講習会 ② 防災士資格取得の推進	継続						
	(2) 地域住民の交通安全の取組みを進めます	① 交通安全教室	継続						
2. みんなが活躍できる体制で人材育成づくりをします 	(1) 若者、女性が活躍できる場をつくるなど地域づくり活動につながる人材育成に努めます	① 若者・女性懇談会 ② 地域料理講習会	検討	実施					
	(2) 伝統行事を持続可能にする人材の育成に取り組みます	① 伝統芸能発表会 ② (若者対象)伝統芸能のワークショップ	検討					実施	実施
3. 地域、世代を越えた対話と交流の地域づくりをします	(1) 集落間の相互の交流を図り、地域の活性化につなげます	① 自治会長視察研修 ② 新春懇談会	継続						
	(2) 他学区・地区との交流事業に取り組みます	① 庄内町各まちづくりセンター事業への相互参加 ② 男女交流事業	検討	実施					実施

【環境・福祉分野】 目標：元気につながりあえる美しい18ネット



活動の柱	活動内容	具体的事業	行動計画						
			R6	R7	R8	R9	R10		
1. 美しい景観を守るために美化活動に取り組みます 	(1) ゴミを捨てない、出さない、拾う意識できれいな地域を目指します (2) 花と緑あふれる地域を目指します (3) 獣害・倒壊予防のため空き家、空き地対策に取り組みます (4) メダカの保護活動を推進します	① 第一学区クリーンデー	継続						
		② 明響ロード環境美化活動	継続						
		③ ゴミ減量化研修会	検討	実施					
		④ スポーツゴミ拾い	検討	実施					
2. 多くの人とふれあいで健康に暮らします 	(1) 健康寿命の増進に努める事業を目指します (2) 高齢者が楽しく暮らせる地域づくりを目指します	① 明響ロード管理(芙蓉)	継続						
		② コキアを活用した緑化活動	実施						
		① 定期的なパトロールと町への情報提供	実施						
3. 地域の助け合いでみんなの暮らしをサポートします	(1) 健康寿命の増進に努める事業を目指します (2) 高齢者が楽しく暮らせる地域づくりを目指します (1) 独居者、高齢者対策(声かけ・見守り等)に取り組みます (2) 高齢者世帯の生活支援に取り組みます	① 親子事業(親子DE榮笑くらぶ)(再掲)	継続						
		② メダカ観察会とぞっこしめ大会	検討	実施					
		① 健康教室	継続						
		② みんなでウォーキング	検討	実施					
		① お茶会の場の設置	検討	実施					
		① 訪問活動(書面や回覧版届ける際の声掛け等)	実施						
		① 町営バス等を利用した買い物ツアー等	検討					実施	
		② 高齢者宅の除雪支援	検討					実施	

【学習分野】 目標：みんなで学び合い 次世代につなぐ18ネット



活動の柱	活動内容	行動計画									
		R6	R7	R8	R9	R10					
1. 子どもがのびのびと育つ環境づくりをします	<p>(1) あいさつ運動をみんなで推進します</p> <p>(2) 学び・遊ぶ場をつくります</p> <p>(3) 大人も子どもも助けあう地域づくりをします</p> <p>(4) 放課後や夏休み等における子どもの居場所の利便性向上に努めます</p>	① あいさつ運動	継続								
		① 親子事業(親子DE楽笑くらぶ)	継続								
		② 少年教室(いきいきアドベンチャークラブ)	継続								
		③ こども学習塾(遊びも含めて)	検討	→	実施						
2. 地域に愛着をもつ若者を育てる活動をします	<p>(1) おもいでに残るイベントづくりをします</p> <p>(2) 地域の良さを認識できる事業をつくります</p>	① 青少年ボランティア(エンジニア・チャレンジャー)	継続								
		② 啓発標語募集	継続								
		③ 子ども・高齢者交流事業(ボランティア含む)	検討	→	実施						
		① 放課後子ども教室「めだかの広場」	継続								
3. 世代を越えた交流学びの場をつくります	<p>(1) 生かがいを持ち続けられる学びの場を提供します</p> <p>(2) 視聴覚室等を活用した多世代交流事業を実施します</p> <p>(3) 体験学習を通して技術の継承を図ります</p>	① 18交流レク大会(再掲)	継続								
		① 庄内町名所等巡り	検討	→	実施						
		① 18ゼミナール	継続								
		② 趣味的講座及び金融に関する講座	継続								
3. 世代を越えた交流学びの場をつくります	<p>(1) 生かがいを持ち続けられる学びの場を提供します</p> <p>(2) 視聴覚室等を活用した多世代交流事業を実施します</p> <p>(3) 体験学習を通して技術の継承を図ります</p>	① 映画会と昔遊び及び歌を楽しむ場の提供等	継続								
		② パブリックビューイング	検討	→	実施						
		③ eスポーツ体験会	実施								
		① しめ縄講座	継続								
		② ミニ門松づくり	検討	→	実施						

【住民交流分野】 目標：笑顔でふれあい みんなで和になる18ネット



活動の柱	活動内容	行動計画								
		R6	R7	R8	R9	R10				
1. みんながいそいそと集い出 会える交流の場をつくりま す	(1) 子供から高齢者まで気軽に交流できる 場をつくりま す	① 18交流レク大会	継続							
		② 18マルシエ	継続							
		③ もちつき(他事業と組み合わせで)	検討	↑			実施			
		④ 花火大会	検討	↑			実施			
		⑤ 田んぼアート	検討	↑			↑			実施
2. 趣味を生かした交流の場を つくりま す	(1) 世代を越えて集える共通の趣味の場を つくりま す	① グラウンドゴルフ大会	継続							
		② ゴルフコンパ	継続							
		③ 芸術祭	継続							
		④ モルック等のニュースポーツ大会	検討				実施			
3. 地域の情報収集と発信で活 動への参加を促しま す	(1) 広報・SNS等で、地域及び各集落公民館 の情報収集と発信を積極的にに行いま す	① 広報誌「18ネットワーク通信」発行	継続							
		② ホームページ・LINE・インスタ等での事業等発信	継続							
		③ 部落公民館運営研究集会	継続							
4. 地域住民と学区内企業・組 織等との交流を促しま す	(1) 地元産品の販売の場を提供しま す	① 18マルシエ(再掲)	継続							
		② 直売市場(朝市等)	検討	↑			実施			
	(2) 住民と企業・組織等が交流できる事業に 取り組みま す	① ゴルフコンパ(再掲)	継続							
		② 企業・組織等見学会	検討				実施			



いちほち 「18ビジョン2028」策定の取組み

〈策定組織〉

- ・余目第一学区地区計画策定委員会（委員長：18ネットワーク会長）
委員：理事会構成員 計16名
※地区計画案及び策定に関し必要な事項を審議する組織
開催回数 5回
- ・余目第一学区地区計画検討委員会（委員長：18ネットワーク副会長）
委員：会長、副会長、部会長及び副部会長、まちづくり推進員
庄内町職員、庄内町社会福祉協議会職員 計25名
※資料収集、地区計画案の策定、その他必要な作業を行う組織
開催回数 4回
- ・18ネットワーク各部会開催
分野毎の目標～行動計画までの検討
開催回数 2回

〈アンケート調査〉

- ・まちづくり住民アンケート調査（令和4年5月～6月：庄内町実施）
対象者：15歳以上の余目第一学区在住者
結果説明会：第一学区全18集落で実施（令和4年10月～11月）
- ・第一学区の明日を創るアンケート調査（令和5年2月：18ネットワーク実施）
対象者：余目第一小学校保護者及び第一学区在住余目中学生

〈先進地視察〉

- ・舟形町「堀内元気安心ふれあい協議会（通称：ハマグリの貝）」（令和4年10月）
- ・鶴岡市「藤島地区自治振興会」（令和4年11月）

〈ワークショップ・グループワーク〉

- ・住民ワークショップ：「余目第一学区の明日をつくる語り合い」開催（令和4年12月）
- ・検討委員会及び各部会で実施

〈住民意見聴取〉

- ・令和5年10月余目第一学区まちづくり計画「18ビジョン2028」（案）を学区内に全戸配付し意見聴取（8件の意見が提出され、その取扱いは理事会で協議）

〈最終決定〉

- ・令和5年10月23日18ネットワーク理事会において、住民意見を一部取り入れた「18ビジョン2028」最終案を第一学区地区計画として承認
- ・計画の名称は、検討委員会の案として提出された「18ビジョン2028」と決定
※ 「2028」は、ビジョン目標年の令和10年の西暦

〈策定事業実施〉

- ・令和5年11月5日「18ビジョン2028」の策定作業が完了する機会に、住民から事業要望の多かった「第一学区集落めぐり&いも煮会」を実施

いちほち
「18ビジョン2028」策定の歩み

期 日	内 容
R4.5.16 ～6.30	まちづくり住民アンケート実施 余目第一学区対象者数 3,846人 回答者 1,126人 回収率 29.3%
R4.6.17	地域計画策定に係る伴走支援についての依頼及び打合せ 会長外4名で訪問 東北公益文科大学大学院 公益学研究科長 武田真理子教授へ依頼
R4.7.29	第1回余目第一学区地区計画策定委員会開催
R4.8.4	地区計画策定全般について伴走支援者打合せ
R4.9.2	検討委員会の進め方について伴走支援者打合せ
R4.9.10	第1回余目第一学区地区計画検討委員会開催
R4.10.14 ～11.12	まちづくり住民アンケート調査結果説明会開催 余目第一学区の全18集落で実施 参加者計 143名
R4.10.20	先進地視察（18ネットワーク会長外3名） 舟形町堀内地区地域運営組織「堀内元気安心ふれあい協議会（通称：ハマグリの貝）」
R4.11.11	住民ワークショップ「余目第一学区の明日をつくる語り合い」の進め方について 伴走支援者打合せ
R4.11.26	先進地視察（策定委員会委員・検討委員会委員・事務局の計13名参加） 鶴岡市藤島地域広域コミュニティ組織「藤島地区自治振興会」
R4.11.27	住民ワークショップ「余目第一学区の明日をつくる語り合い」伴走支援者打合せ
R4.12.11	住民ワークショップ「余目第一学区の明日をつくる語り合い」開催
R5.2.6 ～2.17	「第一学区の明日を創るアンケート」実施 対象者：余目第一小学校保護者 対象者162名 回答者90名 回収率55.6% 第一学区在住余目中学生 対象者124名 回答者81名 回収率65.3%
R5.3.2	検討委員会の進め方について伴走支援者打合せ
R5.3.12	第2回余目第一学区地区計画検討委員会開催
R5.3.22	第2回余目第一学区地区計画策定委員会開催
R5.4.14	第3回余目第一学区地区計画策定委員会開催
R5.4.30	令和5年度18ネットワーク通常総会
R5.6.9	第4回余目第一学区地区計画策定委員会開催
R5.6.16 ～6.26	18ネットワーク各部会開催 ・地区計画の各分野別の目標・施策の柱（活動の柱）・行動領域（活動内容）の検討
R5.7.27	第3回余目第一学区地区計画検討委員会開催
R5.8.21 ～9.1	18ネットワーク各部会開催 ・地区計画の各分野の事業検討及び5ヶ年間の行動計画検討
R5.9.25	第4回余目第一学区地区計画検討委員会開催
R5.9.29 ～10.13	地区計画原案についての住民意見聴取。
R5.10.23	第3回理事会及び第5回余目第一学区地区計画策定委員会開催 （余目第一学区まちづくり計画「18ビジョン2028」の決定）
R5.11.5	余目第一学区地区計画策定事業「第一学区集落めぐり&いも煮会」開催



余目第一学区まちづくり計画「^{いちいち}18ビジョン2028」
編集・発行 ^{いちいち}18ネットワーク（令和6年3月）
事務局 〒999-7781 山形県東田川郡庄内町余目字南田 94 番地 1
TEL 0234-42-2019 FAX 0234-42-0836
E-mail: 1machisen@18net-w.com



ホームページ



Instagram



LINE